

住宅政策の制度的枠組みの変遷

1945 “住宅難の解消” 1975 “量の確保から質の向上へ” 2000 “市場機能・ストック重視へ” 2006 “豊かな住生活の実現”

	(1958)	(1968)	(1973)	(1978)	(1988)	(1998)	(2003)	(2008)	(2010)
住宅総数	1,793万戸	2,559	3,106	3,545	4,201	5,025	5,389	5,759	12,806
総世帯数	1,865万世帯	2,532	2,965	3,284	3,781	4,435	4,726	4,997	人口ピーク
総人口	9,177万人	10,133	10,910	11,519	12,275	12,647	12,762	12,769	12,806

戦災・引揚者等による約420万戸の住宅不足
 全国の住宅総数が世帯総数を上回る
 全都道府県で住宅総数が世帯総数を上回る
 最低居住水準未満世帯が1割を下回る
 全国の世帯の約半分が誘導居住水準を達成

